

日通コンテナーマatchingセンター その目的と取組状況について

日本通運株式会社 海運事業部
ロジスティクス企画

2015年3月3日

With Your Life



【日通コンテナマッチングセンター設立の目的及びその機能と役割】

目的

輸出者・輸入者を始め、船社・輸送会社・インランドデポなど関係する事業体への仲介を当社が実践することにより、空コンテナの陸上輸送比率を削減させる取り組み。

- ＊CO2削減による環境負荷の低減
- ＊お客様の物流コストの削減
- ＊港頭地区における交通渋滞の緩和
- ＊実輸送者である海コン輸送事業者の差益率改善
- ＊内貨輸送手段への展開によるトラックドライバー不足への対応

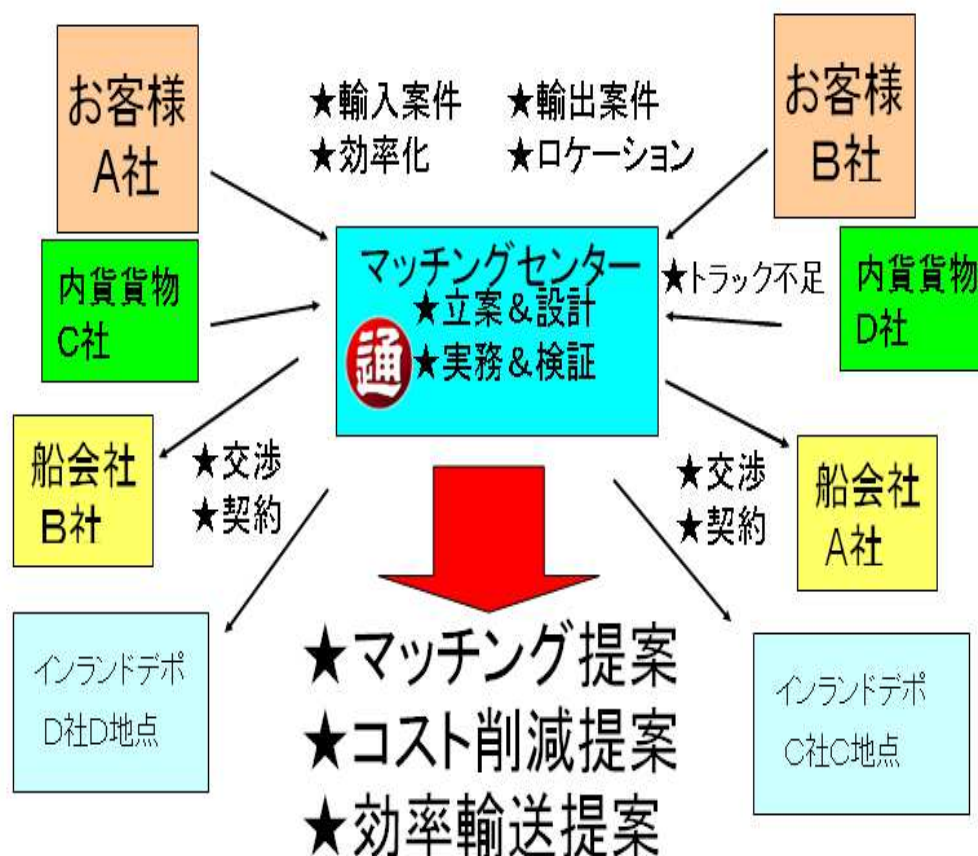
マッチングセンターの役割と機能

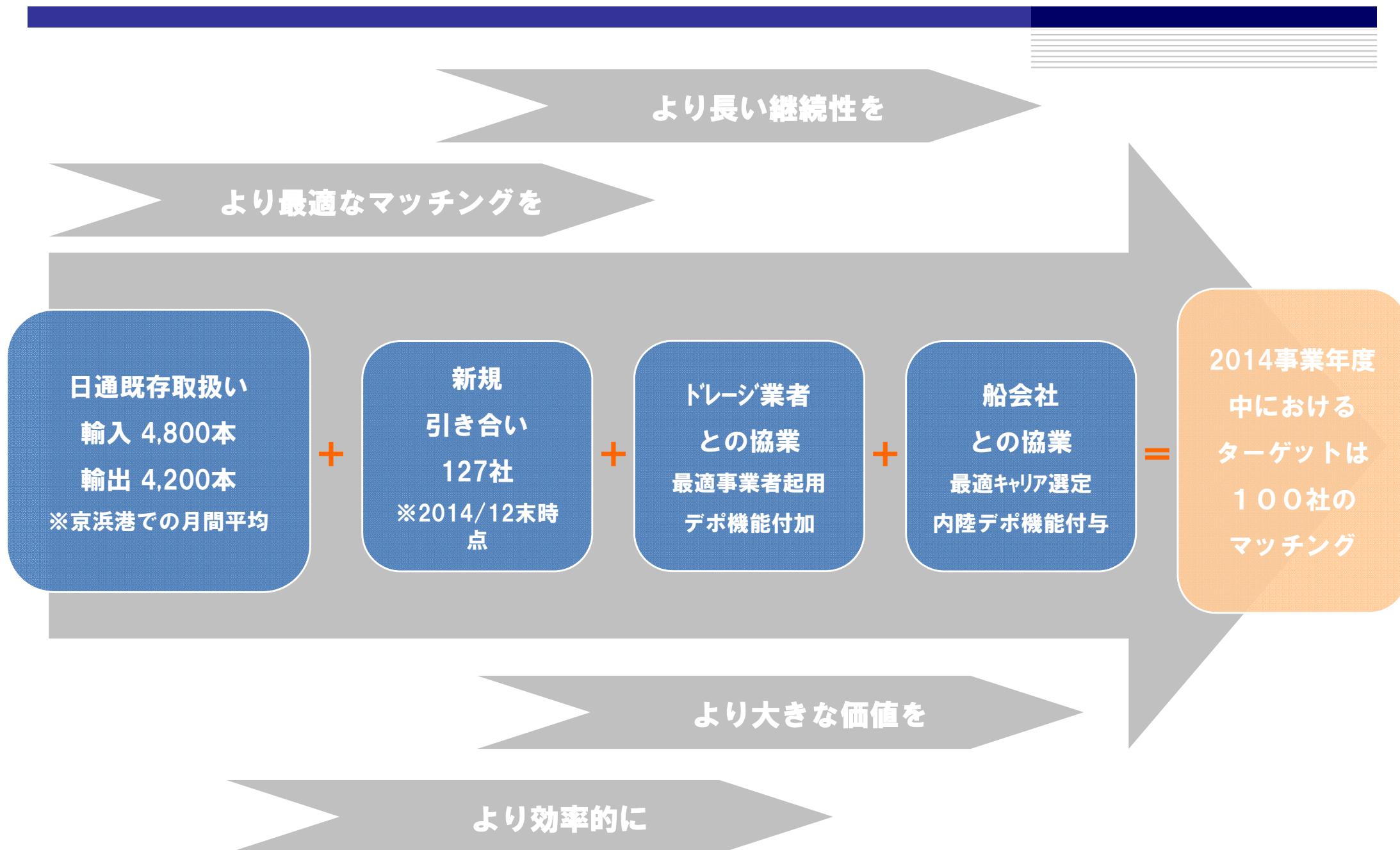
- ① マッチング輸送立案 & 設計及び提案
 - 同一顧客の輸入コンテナの輸出使用
 - A社輸入コンテナ輸送とB社輸出コンテナラウンド輸送のマッチング
 - <輸入>コンテナのインランドデポ返却推進
 - <輸出>コンテナのインランドデポPick Up推進
 - 外航コンテナの内貨貨物輸送案件とのマッチング
- ② インランドデポとの交渉 & 契約
- ③ 船会社との運賃交渉、契約、海上輸送のラウンド化提案

日通コンテナマッチングセンターが目指す姿

役割・機能の全うによる、目的の達成 ⇒ 価値の創出。
効率化により創出された価値を、関係する事業者に公平に分配すること。
それにより、当該事業の継続性を確保すること。

その遂行の為に、当社の取組みに賛同いただける事業者との協業を推進します。





① 新潟港を基点とした輸出入マッチング 開発検討

輸出入マツチング

**新潟CY⇒十日町市明石町への輸入コンテナ輸送⇒
日通魚沼デポへの返バン・空バンピックアップ⇒
小千谷市川井工場でのバンニング⇒新潟CY**



② 新潟港を基点とした輸入コンテナ国内転用 開発検討

輸入コンテナ出し後の空バン 国内転用

新潟CY⇒十日町市明石町への輸入コンテナ輸送⇒

長岡市千歳で国内貨物の積載⇒

新潟港頭地区倉庫に配送⇒新潟CY



③ 新潟港を基点としたJR利用コンテナマッチング 開発検討

JR利用 輸出入マッチング

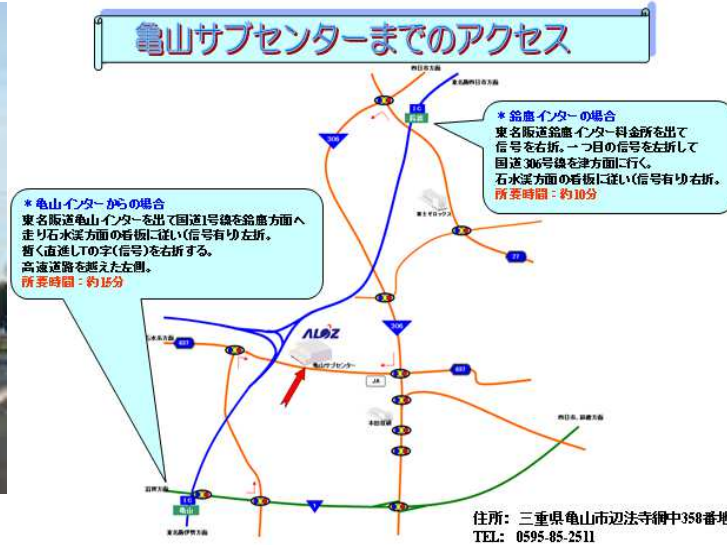
新潟CY ⇒ 新潟貨物(タ) ⇒ 南長岡駅 ⇒
十日町市明石町への輸入コンテナ輸送 ⇒
南長岡駅への返バン・空バンピックアップ ⇒
小千谷市川井工場でのバンニング ⇒ 南長岡駅 ⇒
新潟貨物(タ) ⇒ 新潟CY



- ・国土交通省
- ・経済産業省
- ・茨城県
- ・佐野市
- ・東京都
- ・埼玉県
- ・川崎市
- ・横浜市
- ・大阪市
- ・神戸市
- ・熊本県
- ・福岡県

- ★マッチングセンター取組 & 進捗説明
- ★意見交換会等、開催 & 参加
- ★物流セミナー企画 & 開催
- ★推進協議会開催
- ★共同体結成 & 登録
- ★都市計画意見交換（物流同線 & デポ）
- ★助成金 & 支援金
- ★普及 & 啓発活動会の開催

① 亀山サテライトデポ



所在地: 〒519-0221

三重県亀山市辺法寺町

字綱中358番地4

TEL: 0595-85-2511

<機能>

★切り替え (輸入→輸出)

チェック・清掃・

★時間 (タイミング) 調整

② 橋本サテライトデポ



所在地: 〒252-0253

神奈川県相模原市中央区

南橋本4-2-4

TEL: 042-703-7200

GLOBAL CONTAINER MATCHING SYSTEM

コンテナマッチング支援ソリューション (ESCOT協業)

ー より最適なマッチングを より体系的なアプローチで ー

GCMS

メニュー

- ー 最適マッチングトラフィック検索
- ー 支援施設情報(内陸デポ、船社オフドック機能施設、保管、修理事業所 他)
- ー 支援制度(マッチング保険、CO2認証制度)
- ー マッチングエキスパート紹介とエントリー
- ー マッチングエキスパート研修
- ー 交流会、発表会情報とエントリー
- ー 新企画情報発信
- ー 投稿、登録受付
- ー ウェブカメラによる関連インフラ情報公開

UP

日本通運
輸送
データベース

協業パートナー
輸送・施設
データベース

荷主
輸送・新DC
最新データ

行政・NPO
支援
最新情報

KPI
マッチング率、CO2削減

共有
成功事例、失敗事例

創出
マッチングエキスパート認証

提案
設定すべき新規デポ
推進するための支援内容について行政への申し入れ

グローバル
国内外への情報発信
海外マッチング支援

GCMS – その機能と役割

– より最適なマッチング支援

協業事業者のデータベースからなる日本最大の輸入コンテナマーケットからエリア別に最適なトラフィックと最適ロケーションのデポを共に検索

– ラウンドユースに関わる官民最新情報をワンストップで入手

行政の支援策、協業事業者の新規デポ情報等、ラウンドユースに関わる最新情報をGCMSで一元管理、協業パートナーにシェアされる

– マッチング組立てを実践するエキスパートの養成ホームとして

マッチングを推進していくエキスパートの養成と認証

– レポート機能

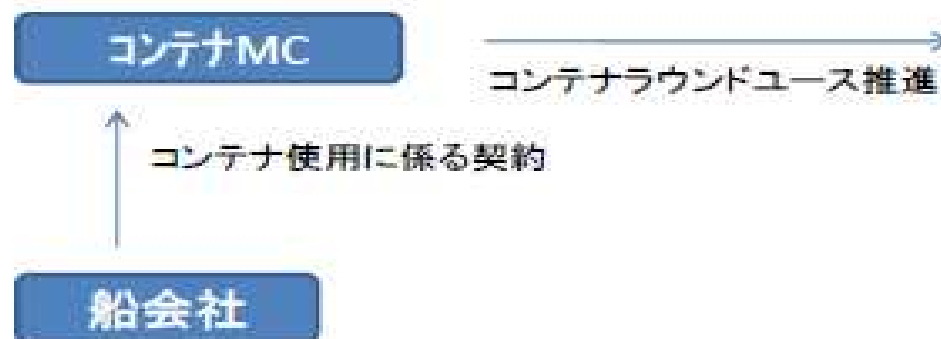
マッチング率、CO2削減効果を定量的効果としてアウトプット。横展開すべきマッチング成功事例を解析紹介。

– 共有機能

多言語での発信による海外との情報共有。グローバルレベルでの輸出入海上輸送のラウンドユース検討における支援機能

マッチング推進者を守る

コンテナラウンドユースに係る保険設計(案)



- コンテナ自体とコンテナ収容内貨物が補償の対象。
- コンテナ毎に保険料を課金するスキーム。
- 荷主がコンテナを使用する間のリスクを保険でヘッジする。

<前提条件>

- ①コンテナMCが船会社とコンテナ使用に係る契約締結があること
- ②荷主はコンテナMCを介して船会社のコンテナを相互利用する
- ③コンテナの利用件数が集約できること

<保険設計案>

- コンテナMCが契約者となって、荷主・運送業者・コンテナMCを被保険者とした貨物賠償責任保険契約の締結。
- コンテナ毎の使用件数によって、保険料金を課金します。
- 荷主がコンテナラウンドユース(コンテナ使用)件数で保険料をコンテナMCに支払います。
- 毎月の実績報告はコンテナMCが集約して保険会社へ報告します。

※荷主と船会社でコンテナ利用の調整が完了する事案は対象外となります。

